

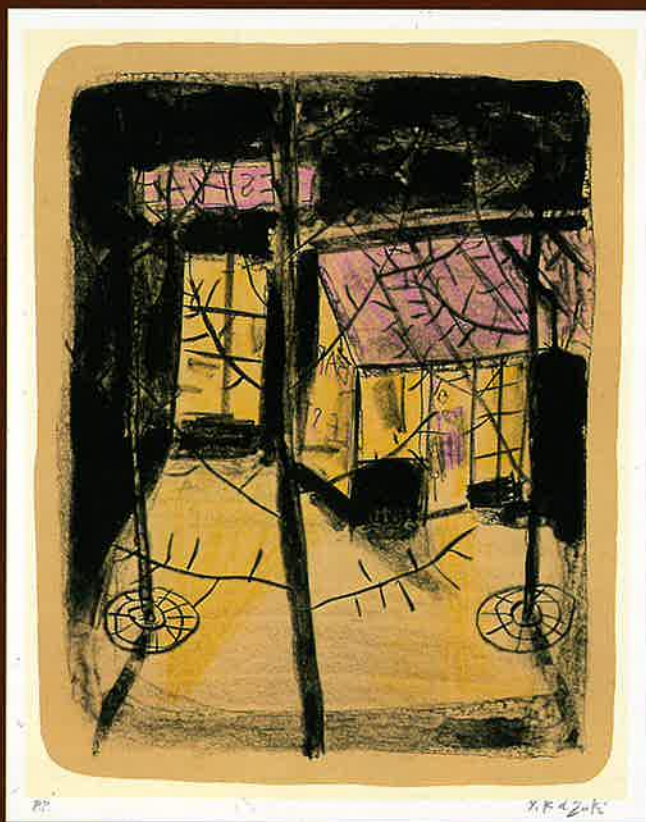
116

contents

生誕100年 香月泰男の旅
新収蔵品特別展示
第65回山口県美術展覧会
ごあいさつ
年間スケジュール

天花

TENGE



香月泰男 「パリの屋根 5」 1971年 山口県立美術館蔵

コレクション展特別企画

生誕100年 香月泰男の旅
新収蔵品特別展示9/28_水～11/27_日

表紙作品解説

香月泰男(1911-1974)「パリの屋根 5」(石版画集『パリの屋根』)

1971年 リトグラフ 39.8×31.7cm 山口県立美術館蔵

1956年10月29日、香月は生まれて初めてヨーロッパを訪れました。パリを本拠に南フランス、イタリア、スペインをまわり、翌年の4月16日、約5か月の旅を終えて帰国します。この初渡欧で目にした中世の絵画や彫刻の人物表現は、後のシベリア・シリーズに決定的な影響を与えました。また1950年代後半から香月のトレードマークとなる黒いマチエールに対する確信を得たのもこの時でした。

フォルム画廊主催の福島繁太郎とともに訪れた初めてのヨーロッパで、香月は油彩80点、着彩スケッチ500枚を描いています。毎日描くことを自らに課した香月は、旅先でも旺盛な創作活動を展開しました。見慣れない外国の風景は香月にとって魅力的なものだったにちがひありません。なかでも宿泊先のラスパイユ・ホテルの窓から眺めるパリの屋根は、お気に入りのモチーフだったようです。初渡欧からおおよそ15年が過ぎた1971年、香月はかつて描いたパリの屋根をもとに石版画シリーズ「パリの屋根」を制作しました。窓から漏れる光が街路を照らすパリの街を、香月はどのような思いで眺め、いたのでしょうか。

(当館学芸員 萬屋健司)

ごあいさつ

「美術の力」

このたび山口県では、48年ぶりの山口国体が開催されました。山口県立美術館におきましても、山口県の貴重な財産である美術品を県内外に広く公表する、いくつもの大きな事業を取り組み、節目の年であると、館員一同認識しております。

今年は、香月泰男生誕100年を迎え、当館では、本年3月から約2ヶ月間、シベリアシリーズを広く紹介するなど、香月泰男の心の軌跡をたどっております。

また、5年間の修復を終え松崎天神縁起絵巻700年記念として、「防府天満宮展」をこれまでに類を見ないスケールで展開しています。

私は、東日本大震災が発生して間もない、本年4月に館長に就任しましたが、多くの方々に来館いただく中で、美術品が見る人の目に焼きつき、強く影響を及ぼすといった、「美術の力」というものを再認識しているところです。

東日本大震災復興支援「おいでませ!山口国体・山口大会」と同様に、美術においても、力強い復興に向けて訴える力、「美術の力」が私はあると思います。

香月泰男のシベリアシリーズで言えば、命の大切さをうかがい知ることができますし、防府天満宮展で言えば、復興に通ずる力強さを私は感じてやみません。

私は、東北の皆さんが求められている「絆と連帯」の意識を多くの方々に、未永く持っていただきたいと思っています。

当館も、県立美術館としての役割、位置づけを十分意識しながら、「たちあがれ東北!がんばろう日本!」の一助としても、事業を積極的に展開しているところです。

山口県立美術館長 西村 亘

今年4月に山口県立美術館の一部に指定管理者制度が導入され、半年経ちました。皆様へのご挨拶が遅くなりましたが、私たち指定管理者サントリーパブリシティサービス株式会社が広報・来館者サービス・施設管理などを担当し、初めて「天花」を発行することとなりました。これまでの、「香月泰男―追憶のシベリア―」「カンティンスキーと青騎士展」「防府天満宮展」を通し、私自身が素晴らしい芸術に触れる喜びを感じつつ、来館された方々からさまざまなご意見やご感想をお伺いしました。それらを受け、皆様が芸術文化に親しむ機会が増えるよう、そして、歴史ある山口県立美術館をより身近に感じて頂けるよう、いろいろなことに取り組みたいと考えております。どうぞ宜しく願いいたします。

指定管理者サントリーパブリシティサービス(株) 支配人 田嶋 啓子

シベリアを越えて

コレクション展特別企画

生誕100年 香月泰男の旅

2011. 9. 28 wed. - 11. 27 sun.



「広場にて」 1973年 木版

生まれ故郷の長門市三隅の自然を愛した香月泰男(1911-1974)は、旅を好んだ画家でもありました。とりわけ晩年には国内をはじめ海外にも足をのばし、当地に取材した作品を制作しています。重厚なシベリア・シリーズとは対照的に、香月が旅先で目にしたモチーフを描いた作品は、明るく清々しい開放感に満ちています。今回の展覧会では「旅」をテーマに、香月泰男の版画作品40点を展示します。昨春の「生誕100年 香月泰男-追憶のシベリア-」展の続編として、香月芸術のもう一つの魅力をご堪能ください。

他館の生誕100年香月泰男関連展覧会

「生誕100年 香月泰男 黒への確信 シベリヤ里帰り展」香月泰男美術館 9.28-11.28

「生誕100年 香月泰男デッサン・版画展-あたたかい日々の日記帖」周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館 9.28-11.27

「香月泰男生誕100年記念 ちひろと香月-母のまなざし、父のまなざし-」安曇野ちひろ美術館 9.16-11.30

同時開催

新収蔵品特別展示



「シベリア・シリーズ《埋葬》関連素描」
1947年 鉛筆・水彩/紙



《埋葬》 1948年
※本展覧会には出品されません。



「シベリア・シリーズ《青の太陽》関連素描」
1968年 鉛筆・クレヨン/紙



《青の太陽》 1969年
※本展覧会には出品されません。

10月25日に香月泰男の生誕100年を迎える今秋、シベリア・シリーズ関連資料が新収蔵品として山口県立美術館のコレクションに加わりました。これを記念して「生誕100年 香月泰男の旅」の会期中、新収蔵品の一部であるシベリア・シリーズの画稿を特別展示します。過ぎ去ったシベリアでの日々、過酷なその記憶に形を与え、芸術作品として昇華させていくプロセスを辿っていくと、香月の息遣いが感じられるようです。

※「生誕100年 香月泰男の旅」、「新収蔵品特別展示」ともに作品保護のため、会期中に展示替えをおこないます。
※作品はすべて山口県立美術館蔵。

第5回山口県総合芸術文化祭 第65回山口県美術展覧会

平成23年12月1日(木)～12月18日(日)

[観覧料] 一般:500(400)円/学生:400(300)円 ()内は20名以上の団体料金
※70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、高等学校、特別支援学校に在籍する方等は無料です。

[休館日] 月曜日 [開館時間] 9:00～17:00(入館は16:30まで) [会場] 山口県立美術館

山口県美術展覧会は今年で65回目を迎えます。ジャンルの枠や大きさなどの制限がなく、全国どこからでも、誰でも出品できるのが山口県美術展の魅力のひとつ。会期中は作品を見る楽しさを体験できる企画も用意しています。展示室いっぱいの創作意欲あふれる作品たち。新鮮さがキラリと光る作品、技術の巧みに思わずうなるような作品を見ていると、きっと新しい発見があるはず。ぜひ今年も山口県美展をお楽しみください。

? 会場で展示されている作品はどうやって決まってくるの?



[昨年の様子] 参加者の質問に答える審査員

3人の審査員が公開で審査をします。昨年は469点の出品作品から、163点が選ばれて展示されました。(審査会を見学するためにはあらかじめ申込みが必要です。詳しくは山口県立美術館ホームページ内の第65回山口県美術展覧会要項をご覧ください。)

今年度の審査員

神谷 幸江 広島市現代美術館学芸担当課長
外館 和子 美術評論家
中村 政人 美術家 3331 Arts Chiyoda統括ディレクター

? 今年の特別展示は?

第64回山口県美術展覧会大賞受賞 印藤恒夫氏による新作を展示します。



昨年度大賞受賞作品 印藤恒夫 TANADA(四郎谷)

? 作品を見ることにプラスしてもっと楽しめる方法がありますか?

作品のことを知りたくなったら・・・

出品者ご本人が展示作品について、お話しする「**自作を語る**」があります。詳しい日程は、展覧会ホームページや館内の掲示でお知らせします。



過去の「自作を語る」の様子

展覧会をもっと楽しみたい人は・・・

入賞作品の中から自分のイチオシ作品を投票する「**私のイチオシ!**」を美術館ボランティアが実施します。あなたが見つけた作品の魅力を、みなさんに教えてください。

展示を見ていたら何か作ってみたいくなった人は・・・

テーマは
建物を楽しむ!!

A みんなでワイワイ・美術体験のコース

「美術館を触りまくれ!」

平成23年12月10日(土)
10:00～15:30

B ひとりでじっくり・制作集中コース

「こんな家に住みたい 空想建築都市計画」

平成23年12月11日(日)
10:00～15:30

[講師] 榎本寿紀(美術家)
[会場] 山口県立美術館
[対象] 小学4年生以上
[定員] 申し込み順15名
[申込方法] 参加コース名・参加者の氏名・年齢・住所・電話番号を記入した往復はがき、またはe-mailでお申し込みください。お申し込みより1週間までに返事がない場合は事務局にお問い合わせください。

申込
お問い合わせ

〒753-0089
山口県山口市亀山町3-1 山口県立美術館「県美展ワークショップ」係
TEL:083-925-7788
e-mail:a19304@pref.yamaguchi.lg.jp

※記入いただいた個人情報は、第65回山口県美術展覧会ワークショップに関する業務以外には使用しません。

2011-2012

schedule

山口県立美術館 平成23年度年間スケジュール

展示室A			展示室B	展示室C	展示室D
香月室	工芸室	小林室			
9	9/28~11/27		9/22~11/6	防府天満宮展 日本最初の天神さま	
10	生誕100年 香月泰男の旅 新収蔵品特別展示			閉室 11/7~11/27	
11			改修工事のため休館 11/28~11/30		
12	改修工事のため閉室 12/1~12/18		12/1~12/18	第65回山口県美術展覧会	
1	改修工事のため閉室		改修工事のため休館 12/19~1/23		
2			改修工事のため閉室 1/24~1/29	1/24~1/29	第64回山口県学校美術展覧会
3			改修工事のため休館 1/30~3/31		

Information

■改修工事ともなう休館のお知らせ

山口県立美術館は開館して32年が経ち、施設の老朽化も進み、作品展示に支障をきたすような事態も出てまいりました。そこで皆様に美術作品を快適にご鑑賞いただくために、本年度は大規模な施設の改修を行うことにいたしました。

長期にわたる休館で、皆さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、どうぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

■休館日

月曜日（月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館）
館内施設工事および作品撤去、展示作業等にもなう臨時休館
（11月28日~30日、12月19日~2012年1月23日、2012年1月30日~3月31日）

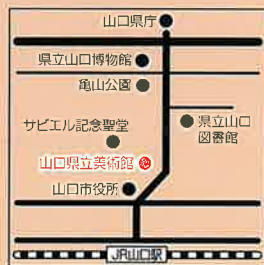
■開館時間

9:00~17:00（入場は16:30まで）

■料金

コレクション展：一般300(240)円 学生200(160)円
（ ）内は20名以上の団体料金。
18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍する方等は無料。

山口県立美術館
Yamaguchi Prefectural
Art Museum
〒753-0089
山口市龜山町3-1
TEL:083-925-7788
FAX:083-925-7784
<http://www.yma-web.jp/>



特別展:別途定めた料金